

八代市・新竹市友好交流協定締結1周年記念

台湾文化芸術コンサート

～秋の調べを新竹の風にのせて～

プログラム

令和7年 9月27日(土)

第一部 13:30開演 (13:00開場)
第二部 17:30開演 (17:00開場)

桜十字ホールやっしろ
市民ホール

主催：八代市
協賛：台熊友好会
後援：台北駐福岡経済文化弁事處

第一部 (13:30~)

吹奏楽コンサート

八代白百合学園高等学校

吹奏楽部ステージ

ル・シャン・ドゥ・ラムール・エ・ドゥ・ラ・フリエール
(愛と祈りの歌)

松下倫士 作曲

I will follow him

F.フルセル & P. モーリア 作曲
金山徹 編曲

SHAKOTAN☆魂

杉浦邦弘 作曲

ディープ・パープル・メドレー

ブラックモア 作曲
佐橋俊彦 編曲

— 休憩 (15分) —

新竹交響管楽団ステージ

アルヴァマー序曲

ジェイムズ・バーンス 作曲

「イントゥ・ザ・ウッズ」
—ミュージカル「イントゥ・ザ・ウッズ」より—

スティーブン・ソンドハイム 作曲

客家組曲 (はっか くみきょく)

許雙亮 作曲

チコラと呼ばれる土地

ポール・マーサ 作曲

八代×新竹 合同ステージ



J-POP Stage Vol.3 【ワンピース編】

山里佐和子 編曲

【八代白百合学園高等学校紹介】



八代白百合学園高等学校は、全国7地区に27の幼小中高大の姉妹校を持つカトリックミッションスクールで、JR新八代駅西口前に学校があり、愛の心を育み、社会で活躍する女性の育成を目指している学園です。

吹奏楽部は、今年度創設35周年。

一音一心 (いちおんいっしん) の部訓のもと、笑顔と感謝をモットーに日々活動に励んでいます。

吹奏楽コンクール・マーチングコンテスト・アンサンブルコンテストの3部門において熊本県代表として長年九州大会に

連続出場してきたことを評価され、今年11月に吹奏楽優秀団体として表彰を受けることになりました。

これからも、地域に愛される吹奏楽部として力を尽くしてまいります。

来年1月に第28回定期演奏会をここ桜十字ホールやつしろにて開催予定です。皆様ぜひお越しください。

演奏曲目及び曲順は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください

第二部（17:30～）

風の伝説 客家文化の伝統音楽と光のパフォーマンス

「風の伝説」は日本では初上演の演目です。
新竹市の四季の移ろいを感じ、思いを馳せてみませんか。

八代市・新竹市友好交流協定締結1周年記念に寄せて

新竹は台湾著名的風城，作為八代市與新竹市簽訂友好交流協定紀念，本次演出的「風の傳説」由新竹交響管樂團以「風」為主題，邀請雲火INFERNO火舞團、新竹北埔八音團共同合作，結合不同形式的音樂與舞蹈，展現新竹四季的變化與風的姿態。

透過演出帶領觀眾感受新竹一年四季的風之物語。

新竹交響管樂團 團長 周仕偉

新竹は台湾で「風のまち」として知られています。今回の公演「風の伝説」は、八代市と新竹市の友好交流協定締結を記念して、新竹交響管樂團が「風」をテーマに企画したものです。

本公演では、雲火INFERNO火舞團、新竹北埔八音團と協力し、さまざまな形式の音楽と舞蹈を融合させ、新竹の四季の移り変わりや風の姿を表現します。

風とともに移ろう季節の物語を、皆さまにお届けできれば幸いです。

新竹交響管樂團 團長 周仕偉

～ 解 説 ～

— 過去 —

起源 天地人 — 「天地人」は『易経』に由来する哲学用語で、天・地・人の三才を指します。新竹市の市章もこの概念を取り入れています。本公演はこの精神を受け継ぎ、「天地人」を創作の軸とし、伝統と現代を織り交ぜ、時空を超える芸術の旅を展開します。

— 現在 —

春 春 串 — 喜びに満ちた旋律で幕を開け、春の芽吹きを象徴します。
春 暁 — 夜明けを描き、生命の息吹を音楽に映し出します。
春風祭 — 祭りの熱気を取込み、人と自然の共生をリズムで表現します。
夢 蝶 — 莊周の胡蝶の夢をモチーフに、音楽と舞蹈を織り交ぜ、夢と現実が一体となる幻想的な情景を描きます。

夏 緊八板 — 力強いリズムで夏の熱気と活力を表現します。
廟 会 — 莊嚴な儀式と賑やかな祭りの共存を描きます。
夏の夜風 — 涼やかな夜風のように、清らかでロマンを感じさせます。
夏祭り — 太鼓と歓声が響き渡り、夏のクライマックスを彩ります。

— 休憩（15分） —

— 現在 —

秋 八月十五日 — 満月が昇り、団欒と郷愁を象徴します。
日没と鳥の声 — 鳥のさえずりから蛙や虫の声へと移り変わる黄昏を描きます。
稻 浪 — 稲穂の波が豊穡の喜びを表します。
星夜月光 — 星空と月光が織りなす静かなロマンを描きます。

冬 冷泡茶 — 清らかで優雅な旋律、日常に潜む美を描きます。
鏡花水月 — 護城河に映るネオンが静と動の対比を示します。
冬 陽 — 強い風の中でも太陽の温もりが人々を癒します。

— 未来 —

継続 帰真反璞 — 新竹は科学技術と文化が共存する都市です。本曲は「返朴帰真」を寓意とし、革新と伝統の調和を探り、未来への憧れを託します。

出演団体紹介

しんちくこうきょうかんだん
新竹交響管楽団



1995年に新竹市立管楽団として発足。2002年に民間団体となり、新竹交響管楽団に改名。19年連続で新竹市の優秀芸術団体に選出。新竹サイエンスパークや企業等からの理解と支援を得ながら、音楽教育の推進や人材育成、公益のために活動を行なっている。

うんか インフェルノ かぶだん
雲火 INFERNO 火舞団

2018年に雲林県で設立された炎と光を操るパフォーマンス集団。
雲林初の炎芸術専門団体として雲林県政府から承認を受ける。
台湾各地、日本、イタリア、ギリシャなど、様々な国でパフォーマンスを披露している。



しんちく ほくほ はちおんだん
新竹北埔八音団



消えゆく客家(※)の伝統音楽を守るべく2015年より活動を開始。
現在10名で活動中。
婚礼、葬儀、戯曲の伴奏、寺院での祭りなど年間演奏回数は100を超える。
新竹県伝統芸能審議会より「客家八音」継承者として認定されている。

※客家(はっか)とは？

中国大陆の黄河流域中原地方から戦乱を逃れ、南部地方に定住した人々のこと。
中国大陆のほか台湾、マレーシアなどに居住し、独特の言語や文化を持つ漢民族の一派。

台湾・新竹市

元々の名称を竹塹(ちくざん)といい、城の防衛のために竹を植えたことに始まります。

清の時代に新竹と改名されました。

冬に非常に強い季節風が吹くことから、「風のまち」と呼ばれています。

この風を活かして乾燥させたビーフンが特産品です。

1980年に新竹科学園区(サイエンスパーク)が設置され、TSMCをはじめとする世界的な半導体企業の本社や工場が立地し、台湾のシリコンバレーとも呼ばれています。

また、新竹市役所や新竹駅、美術館など日本統治時代の建物が現役で使われているところが数多くあり、科学技術都市でありながら、300年の歴史を持つ古都でもあります。

